

広報紙 ほっかいどう

その先の、道へ。北海道
年5回発行(5・7・9・11・2月の下旬)



道産品が
当たる!
裏表紙をチェック!

2016年
10月号
平成28年9月発行
通巻217号

【特集】未来へつなごう! 北海道の食

良質な食は、^{ほこ}北海道の誇り。
未来につながる農水産業を育て、
世界への発信力を高めていきます。

北海道の発展を目指す、食の取り組みが盛んです。
強みを生かし、産業を守り育て、新たな時代に向けて前進します。



将来を見すえ、
北海道の魅力あふれる「食」で
新たな一步を踏み出しましょう。

北海道知事
すずきなおみ



道産食品を もっと世界へ!

次代のための 元気な農水産業づくり

市場開拓と産業の 基盤強化を両輪に

安全でおいしい「食」は北海道の大きな強みであり、道産食品は、国内はもちろん、海外でも高く評価されています。

北海道の食産業を未来に向けてさらに発展させていくこと、道では、道産食品輸出1,000億円を目標とする「北海道食の輸出拡大戦略」を策定し、オール北海道による取り組みを進めています。

近年、人口減少が進行し、国内の食市場の縮小が見込まれる中、経済成長が著しいアジアの国々など、海外に良質な道産食品の販路を広げていくことは、本道経済をリードする重要な取り組みといえます。

この戦略では、高鮮度の水産物、コメや牛肉、道産スイーツなどを重点品目に掲げ、品目や相手国・地域の特徴に応じて輸出拡大を進めることとしています。

ことし1月にシンガポールに開設した道のASEAN事務所などの海外拠点も活用し、道内企業や市町村などと一緒に、積極的に取り組みを進めています。

国内外に向けて北海道の食の魅力を発信していくには、その基盤となる農水産業の発展が不可欠です。

農水産業は北海道の基幹産業として重要な位置づけにありますが、時代とともに生産者の減少や高齢化が進んでおり、担い手の育成・確保が急がれています。また、経営体質の強化や付加価値の向上などに取り組み、成長産業としての基盤強化を進める必要があります。

そこで農業では、関係機関・団体などとの連携により、担い手の育成・確保を図るほか、ロボット技術やICT(情報通信技術)を活用した作業の省力化や品質向上に取り組むことで、効率的・高収益な生産に向けた環境づくりを進めています。

また、水産業では、栽培漁業などによる生産力の強化に加え、近年、課題となっている消費者の「魚離れ」に対応するため、魚の消費拡大につながる新たな取り組みを行っていきます。

北海道が将来にわたって発展していくためには、活発な産業が地域に根づき、担い手が希望を持って取り組んでいく環境づくりが大切です。

道では、その実現のため、「市場開拓」と食を支える「産業の基盤強化」を両輪として、北海道の強みである食を着実に発展させていくことをしています。

中面では、その具体的な取り組みを紹介します。

北海道クイズ

北海道のクリーン農業をPRするキャラクターの名前は?

ハ○○タ博士&
くりーんだね



答えは中面下に▶

特集 未来へつなごう！ 北海道の食産業を広げ、 次代の成長産業に育てるために。

世界に広がる北海道の食

企業や地域の海外展開を支援

道が進める「北海道食の輸出拡大戦略」では、安全・高品質・こだわりの道産食品を、確実にコストで現地に届けるための商流・物流網の整備に取り組んでいます。その一つが、アライバーやによる企業支援・輸出事務に精通したアドバイザーを海外と道内に配置し、輸出に取り組む道内の食関連企業などに対して事務のサポートや現地での商談支援などを実行しています。

また、市町村や地域の企業・生産者・振興局などが一体となった地域発の海外展開の取り組みも支援しています。プロエクティームの検討や海外プロモーションの実施などを通じて、地域の海外発信力の強化や販路拡大を目指します。

▶[企業向け支援]道営食連産業室 ☎(011)204-5138

▶[地域向け支援]道営国際経済室 ☎(011)204-5339

アンテナショップで道産食品を海外へ発信

北海道のアンテナショップ「北海道どさんこフラワ」の海外店舗が、昨年11月にシンガポールにオープンしました。場所は、シンガポール中心部の商業施設。実演販売コーナーを設け、水産加工品や乳製品、農産加工品、菓子など約160品目を扱っています。

経済成長の進むASEAN(東南アジア諸国連合)の経済の中心であり、ここ1月に北海道ASEAN事務所を開設したシンガポールへの出店は、道産食品の販路拡大や情報発信に大きな役割を果たしています。

また、ことし5月には多くの外国人客が訪れる銀座店にサテライト店を開設し、国内外からも道産食品の魅力を外国人に向けて発信しています。

▶道営食連産業室 ☎(011)204-5766

「北海道どさんこフラワ」シンガポール店

国内外の市場開拓を進め、農水産業のたくましい基盤づくりを、次代に向けて進められているさまざまな取り組みを紹介します。

道産スイーツなどの輸出支援を強化

道では、北海道ブランドとして質の高い道産食品を安定的・継続的な取引につなげていくため、海外での新市場開拓や販路拡大に力を入れています。

道産食品の中でも、スイーツは外国人観光客に人気があり、輸出額の伸びが期待できる分野として、地域の菓子メーカーと連携し、テスト輸出や商談会などに取り組みます。このほか、機能性食品の販路拡大や、イスラム圏向けの新市場開拓も進めています。

▶道営食連産業室 ☎(011)204-5138

新たな環境への挑戦は、自社の価値を磨き続けること。

(株)ハイド・アルル
代表取締役 篠田 秀一さん

創業23年の当社は、地元江別市の小妻をはじめ、牛乳、生クリームなど良質な道産素材を使った洋菓子を製造しています。

当社が海外展開を始めたのは2010年。「小さな会社でも夢を持って挑戦すれば可能性を広げられる」ということが、従業員約90人のやりがいに結びついてほしいと、事業を進めています。

当初、マレーシアと中国に進出したときは、物流や価格、人材確保など、さまざまな課題に直面しましたが、昨年出店した韓国では、それらの課題を乗り越えて現地の人たちと信頼関係を築くことができ、家族のように助け合いかつけるようになりました。

江別で生まれたロールケーキやソフトクリームは、現地のお客さまにも愛されています。

海外展開は、失敗から得るものの方が大きい。「自前の利益を守らなければではなく、新たな環境に踏み出すことで、自社の価値を磨き続ける」という考え方方が大事だと思います。

韓国にある「ハイド・アルル」の店舗

労働トラブルの解決を支援

道では、道税の滞納を整理し、収入を確保するため、9月を「勤動差押強化月間」として、集中的に勤動や自動車の差し押さえを行っています。差し押さえられた財産は、ヤフー(株)提供のインターネットオークションシステムを利用して公売を行います。

自治体が出品するため安心してお取り引きができる、24時間、全国どこからでも参加できます。

*差動とは、商品や家財など、不動産(土地、建物など)以外の財産のことです。

▶平成28年度第5回公売実施予定

公示参加申込期間1回 9/28(水)13時～10/14(金)23時

▶北海道労働委員会事務室 ☎(011)204-5667

子ども体力アップ強調月間

北海道の児童生徒の体力は少しづつ向上していますが、依然として全国平均を下回っていますが、運動習慣の定着が課題となっています。

そのため、今年度から毎年10月を強調月間とし、学校・家庭・地域・行政が一冊となって、子どもたちが運動やスポーツの楽しさを実感できる機会を充実させ、体力向上に取り組む環境づくりを推進します。

詳しく述べは、各市町村の高齢者福祉窓口や老人クラブ連合会までお問い合わせください。

▶道営労働委員会健康・体育課 ☎(011)204-5752

▶道営高齢者保健福祉課 ☎(011)204-5176

▶道営税務課 ☎(011)204-5160

▶道域地域主権課 ☎(011)204-5160

▶道域労働組合主権課 ☎(011)204-5160

福祉に工夫!

**高齢者や障がいのある方を
歌って盛り上げるアイドル。**

地域密着型の福祉アイドル【札幌市】

看護師や薬剤師を目指す学生3人組「Little★Star」と、働きながら活動する2人組の「Twinkle★Twinkle」は、地域密着型の福祉アイドル。北海道科学大学看護学科の先生がプロデュースするこの2組は、2014年から医療・福祉施設をはじめ、町内会や商店街などで年間40回ほどのライブ活動を行っています。観客の年代に合わせて、懐メロからアイドルソングまでを歌って踊り、会場は大盛り上がり。高齢者や障がいのある方々もリズムをとって、とても楽しんでいます。

吹奏楽部だった学生時代、老人ホームや養護施設で演奏して自分も感動した経験があり、福祉系アイドルのアイデアが浮かびました。

高齢者には孫のように可愛がられ、「普段とは違う表情が見られた」と介護士の方に驚かれたこともあります。活動を通じて、いろいろな方の気持ちを理解し、地域を少しでも元気にしてほしいと思います。学生ユニット「Little★Star」は2018年春卒業、後継者を募集中です。

▶お問い合わせ 北海道科学大学 ☎(011)688-7137(研究室直通)

**アイデアも
道産!**

北海道 ひと・人・くふう

北海道を豊かにする、地域の皆さん
の「ひと工夫」を紹介します。

アイドル編

道立富良野綠峰高等学校では2004年から、園芸学科カレー専攻班の生徒で結成した「ふらのカレンジャー娘」が、カレーのまち富良野をアピールしていました。

地域と連携するプロジェクト学習の一環で、地元の食材を使ったオムライスとカレーの合体メニュー「富良野オムカレー」をテレビや雑誌、イベントなどで全国に発信。また、最近は地元喫茶店で生徒が作ったオムカレーの販売や小学校での食育講座、市内スーパーでの試食会など地域向けの活動にも力を入れています。

活動期間は2年生の2学期から卒業するまでの1年半。将来の進路も意識して専攻する生徒が多いです。各地のイベントに参加し、最初は「楽しい」だけの生徒も、校外の大人と関わり、未知の経験を重ねていくうちに、「地元のため活動している」という責任感が芽生えるようです。大阪の「たこ焼き」のように、郷土愛あふれるオムカレーになるとうれしいですね。

▶お問い合わせ 北海道富良野綠峰高等学校 ☎(0167)22-2594

**キラ!
キラ!
子
どさん**

道内各地で、未来に向かってきらきら輝く
そんな子どもたちを応援します。

**中学生のアイデアを
まちぐるみで実現します。**

町立浦幌中学校の「まちおこし学習」 浦幌町

町立浦幌中学校では3年生を対象に、まちを活性化する企画を考え、発表する学習を8年前から行っています。地域の人々が全面協力し、生徒が考えたキャラクターによるPR活動をはじめ、特産品を使ったお弁当や、高齢者と若者が交流できる「まちなか農園」が実現しました。

昨年は、町内に高校を復活させたり、移住者を増やしたりといった「人口増加」をテーマにしたアイデアを発表。担当の金田学先生は「まちおこしは大人が考えるものと無関心だった生徒が、まちの一員だと自覚するようになった」と、成果を実感しています。

▶お問い合わせ 町立浦幌中学校 ☎(015)576-2421

北海道の人口	総人口	男	女
平成28年6月末	5,381,711人	2,542,195人	2,839,516人
前年同月比	30,345減	15,549減	14,796減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ

12月号は11月23日(水・祝)
から配布予定です。

当たる! 北のおいしさ!

ホクレンの北海道米「荒(晩)ななつぼし」(精米5kg、新米)をプレゼント! 独自の品質基準を満たしたおいしいお米です。

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

10月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか
 ①特集(未来へつなごう! 北海道の食)
 ②お知らせ北海道 ③地域ニュース ④道議会から
 ⑤ひと・人・くふう ⑥キラキラ! どさん子

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限:10月27日(木)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 ハガキ ☎060-8588(住所不要)
 パソコン 広報紙っぽかいどう 検索
 ●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバーコードなどの閲覧も上記からアクセスできます。※8月号のプレゼントには、1,958件の応募をいただきました。

携帯サイト QRコード

この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニークフォントを採用しています。